

今までバナナ学園純情乙女組をご観劇、応援して下さった全ての皆様へ

バナナ学園純情乙女組主宰の二階堂瞳子です。

まずは、バナナ学園純情乙女組『翔べ翔べ翔べ!!!! バナ学シェイクスピア輪姦学校（仮仮仮）』の上演中に起きました事態において、今までバナナ学園純情乙女組を支えて下さった皆様に長い間、ご心配ならびにご迷惑をおかけ致しましたことを心よりお詫び申し上げます。

先の事態の発端が、一人の俳優の暴走であったという事実はあれど、その俳優を起用し、その行為があった時点で歯止めをかけることなく見逃してしまっていたのは紛れも無く私であり、何よりもバナナ学園純情乙女組の公演で起きてしまった今回の一件の全ての責任の所在は、主宰である私にあります。

そして、私が本当にやりたいこと、また、やってきた世界観から大きく逸脱し、ただ過激さのみが増していくあまり俳優から出た提案を却下することなく、結果として今まで徹底してきた観客とのコミュニケーションの取り方が決定的に見失われる瞬間になってしまいました。

フェスティバル/トーキョーやアゴラ劇場での公演が中止になってしまい、言いたくても言えない事や、やりたくてもやれない事が色んな事情でももちろんいっぱいあって、本当に一つの過ちがこれだけのことに響いてしまう悔しさ、辛さ、申し訳なさ、苦々しさも含め、それでも自分のした事の結果について責めを負わなければなりません。

バナナ学園純情乙女組は、次回の公演をもって解散をします。周囲の方々からは時間をあけて活動を再開する休団という形を提案して下さる方もいましたが、この解散という選択は自分なりに精一杯誠実に対応しようとした末の決断であり、今回の事態に関しての社会に対する責任の取り方だと思っています。カッコ悪いことをしたのだから、そのカッコ悪さをどうしようもなく引き受けなければならないし、また、ここで周囲の意見に従い、休団という形をとりながらも団体を存続させ突き進むことは、今の私にはすべきではない事だと考えます。

解散公演をするにあたっては、こうした事態に劇団が陥っても、それでも支えようとして下さる観客の方々も確かにいて、そうした応援して下さる方々へ対して突如解散という形で顔を背けるのではなく、本来私たちが出会うべきである劇場にて最後に意思を表明できたらと思っています。

この公演に関して、まだ時期や場所は決まっていません。今、懸命に模索している最中で、具体的なことは何一つ決まっていません。もしかしたら、公演を行うことができないかもしれません。

しかし、支えて下さる観客の方々に再度出会い、直接的な形で示せる私たちの最後の返答を見届けて頂きたいのと同時に、最大のホスピタリティと感謝で、観客の皆さまへ向けて最後の一瞬まで努力し続けていきたいと思っています。

ご報告が出来る時まで、どうかお待ち頂ければと思います。

2012年7月14日 バナナ学園純情乙女組 主宰 二階堂瞳子